

両角友成 県議の9月県議会での一般質問の要旨をお知らせします。
一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



** 介護保険制度の見直しについて **

両角 国は介護保険制度を見直し、要介護1・2の生活援助を介護保険から総合事業に移行、利用料の原則2割への引き上げ、ケアプラン作成の有料化などを検討している。要介護1・2まで保険給付から外されれば、介護保険は大きく変質してしまう。

健康福祉部長 県は市町村からの要望に基づき、介護保険制度が安定的になるよう国庫負担の拡充や介護職員処遇改善加算の恒久的な制度化などを国に提案している。制度改正では、特に低所得者への配慮を国に提案していく。

** 教職員の長時間労働の是正について **

両角 不登校やいじめ問題などが増加し、貧困と格差の広がりによって保護者との関わりも複雑化するなど教職員の負担が増えている。教職員の長時間労働は、教育に深刻な影響を与え限界に達している。政府もついに「教員の長時間勤務の早急な是正」を掲げた。教職員を増やすことに力を尽くすべきでは。

教育次長 今年度、小学校の英語教科化に対応する専科教員を20人、授業準備や事務を補助するスタッフを121人配置するなど、人的整備を進めている。

両角 労働安全衛生法の改正で、労働時間の把握が使用者・行政・校長の法律上の強い義務となったが。

教育長 ICTやタイムカードで、年間を通して全教職員の勤務時間を適正に把握するよう市町村教育委員会や学校長に働き掛けている。

** 地域分散型、自然エネルギーの活用について **

両角 台風による広範囲の停電や断水など、ライフラインが機能しない。電力の地産地消、分散型がリスクを少なくする。小水力発電で須坂市の企業を視察したが、県が積極的に関わってほしい。千葉県の災害現場を見ると、避難所に発電装置が必要と思う。

知事 大規模停電の事前防止対策では中部電力と覚書を結び、危険木をあらかじめ伐採するなど対応している。避難所となる小中学校などには、太陽光発電と蓄電池をセットにした再生可能エネルギー設備等の導入を支援している。

両角 千葉の送電鉄塔の倒壊による停電では「東電大丈夫か」と思わざるを得ない。新潟県の刈羽原発は、東電が再稼働を目論んでいる。国に対し改めて再稼働に懸念を示すべき。

知事 原子力災害は、日本のどこに住んでいても無関係でいられない。国民として二度と被害を受けることがあってはならない。全国知事会とも連携して、国に責任ある対応を求めていく。

☆質問を終えて☆

現場に出かけて調査したり、関係する方々と突っ込んだ話し合いを持つことで質問を練り上げて臨みましたが、実を取るのは大変です。また頑張ります!!